

は じ め に

広島県は平成 15・16 年度の2年間、科学技術・理科教育推進モデル事業（「理科大好きスクール」事業）の指定を受け、研究主題を「自然を感じ、自ら調べ、論理的に考え表現する子どもの育成」と定め、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、探究心を高めるための指導や、学んだことや考えたこと、興味をもったこと、調べたことなどを論理的に考え表現する子どもの育成の在り方について研究しています。

このような子どもを育成するには、理科等の授業改善をすすめるとともに、授業で学んだことを生かしながら自らテーマを選び、各自の能力と個性に応じて研究の計画を立て、観察・実験を工夫し、データを集め整理してまとめるといった科学研究に取り組ませることが有効です。また、こういった科学研究への取組みは、情報の理解、事実の整理といった技能や筋道を立てて論理的に思考し、表現するなどの力を育成することとなり、本県のめざすことばの教育の充実を図ることに役立ちます。

子どもたちの科学研究奨励のために、広島県教育委員会では「広島県科学賞」を実施しており、例年県内各地から3万5千点を超える応募があります。県の特選に選ばれた作品は全国中央審査でも数多くの賞を獲得していますが、全ての子どもが出品している学校もあれば、全く出品しない学校もあるなど、学校の取組みに違いが生じているところです。

そこで、科学研究の有用性や指導方法を広く伝える必要があると考え、この度、科学研究における指導のポイントや工夫、学校の実践事例、優れた科学研究作品の紹介をまとめ、科学研究の指導の充実を図るための指導資料を作成しました。

各学校においては、本書を活用し、より多くの子どもたちに科学研究のよさを味わわせ、学んだことや調べたことなどを論理的に考え表現する子どもの育成を進めていただきたいと思います。

平成 16 年 3 月